

令和7年12月24日

保護者様

丹波篠山市立城南小学校

校長 中野 純也

11月実施「学校生活アンケート」の結果について

寒冷の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申しあげます。日頃は、本校の教育にご支援・ご協力をいただき、心より感謝申しあげます。

さて、本校では、子どもたちが安心してすごせる学校をめざして、いじめの未然防止・早期発見・早期解決に向けて取り組みを進めています。その一つとして、11月に「学校生活アンケート」を実施しましたので、その結果についてお知らせします。

【児童へ実施したアンケート結果より】

1. いじめの実態調査		低学年 (1~3年)	高学年 (4~6年)
1	いじめられたことがある	11.4%	6.8%
2	人をいじめたことがある	7.1%	4.1%

2. 「いじめられたことがある」「今もいじめられている」と答えた児童の主な内容

1	冷やかし・からかい・悪口・嫌なことをと言われる	2件	5件
2	軽くぶつかられたり、叩かれたり、蹴られたりしている	2件	1件

3. いじめられた時に相談する相手(複数回答可)

	低学年	高学年
担任	81.4%	63.5%
担任以外の先生	48.6%	36.5%
養護教諭	19.4%	8.1%
保護者や家族	67.1%	59.5%
友だち	57.1%	52.7%
誰にも相談しない	1.4%	6.8%

. いじめられている人を見た時の行動(複数回答可)

	低学年	高学年
注意する	84.3%	48.6%
励ます	68.1%	37.8%
先生に伝える	84.3%	62.2%
保護者や家族に相談する	44.3%	20.3%
友だちに相談する	51.4%	32.4%
何もしない	0%	4.1%

【結果に基づく考察と対応】

「いじめられたことがある」と回答した児童について、関係する児童から話を詳しく聞き、事実確認をおこないました。その上で各学年の児童に対して、友だちを大切にすることを指導してきました。

低学年では、コミュニケーションの力が未熟なことから、友だちに対する言葉遣いや行動が乱暴になってしまい、相手がいじめられたと感じたといった事例が多くありました。腹が立った時や納得がいかないことがあったときにどのようにすればいいのか考えさせるようにしています。保護者の方々とも連携を取りながら、コミュニケーションの力を高めるとともに、ご家庭でも、腹が立った時や納得のいかないことにどのように対応すればよいかのかと一緒に考えていただけたらと思います。

高学年では、軽い気持ちから面白がって相手をからかう、あだ名をつけて相手を呼ぶなど、相手の気持ちに考えが至らない言動が数件ありました。学年の中で、それを許してしまう雰囲気もあったことから、普段の言葉遣いや名前の呼び方など、相手を大切にする行動が大切であることを学年全体で話し合い、今後の行動につなげるよう、指導しました。

「いじめられた時に誰に相談しますか」では「誰にも相談しない」と答えた児童は少数ではありますが、高学年になると増える傾向にあります。一人で抱え込まずに、困ったことを相談して、解決していくことの大切さをご家庭でもお話しください。今後もご家庭と学校で情報交換を進め、いじめの未然防止・早期発見・早期解決に取り組めるよう、ご協力をお願いします。